



◀柵のない海岸。夏になると水着姿の若者でいっぱいになる。

▼改札口がないデンマークの駅。電子式乗車カードの対応機器がプラットフォームに立っている。



#### デンマーク王国 DATA

人口562万人(≒北海道)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

当会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度が高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

## LETTER FROM COPENHAGEN コペンハーゲン通信 9 PART IV

### カーテンが少ない国



#### 木下 潤一

在デンマーク日本大使館一等書記官  
(経済同友会事務局より出向中)

10月末に夏時間が終わり、デンマークの日照時間もめっきりと短くなってきました。夕方5時になると、すでに外は真っ暗です。帰りの電車の窓から何気なく外を見ると、戸建てやアパートの一つひとつの窓からユニークな形のさまざまな照明が、ぼんやりと美しく輝いています。日本とは異なり、窓にカーテン等を取り付けている家はあまりありません。皆、好みの家具を部屋に配置し、それを外部へプレゼンテーションするかのようにオープンにしています。

どうやら多くのデンマーク人にとって、他者に見られるということは、さほど問題にならないようです。むしろ、遮るモノを作らないことに相当のこだわりを持っているようにさえ見えます。私などは、どうしても周りの目が気になってしまい、なかなか落ち着きません。昔からふすまや障子といった仕切りの文化に慣れ親しんできた日本人の感覚からすると、なかなかなじめないのです。

よくよく考えてみると、デンマークでは、こうした仕切りのない開放的なデザインをしばしば目にしていることに気がきます。

一つの例が鉄道や地下鉄の駅です。デンマークの駅には、改札口というものが存在しません。駅の入り口からプラットフォームまで、ゲートのようなものは何もなく、定期券を持っている人は、何もせず、そのまま電車に乗ります(ちなみに、時折巡回してくる抜き打ち改札スタッフに切符や定期券を提示しないと、高額な罰金が科されます)。

また、日本大使館の前には、数キロにわたって海岸線が続いていますが、柵は一つもありません。一歩先は結構深い海なので、日本であれば柵を設けるところでしょう。夏になると、日焼けと海水浴を楽しむために、水着姿の若者たちで埋め尽くされます。海に飛び込んで泳ぐ人も多いですが、これは自己責任ということになるのでしょうか。

開放的なのは、物理的な事柄に限りません。デンマークには、CPR番号という国民共通番号のシステムがあります。

1968年に納税手続きの合理化のために導入されましたが、その後適用範囲が拡大し、現在は医療記録にも連動しています。これにより、患者のあらゆる診療記録や病歴等が、CPR番号一つによってすべて明らかにされます。

また、国立血清研究所のバイオバンクには、約1,500万件のデンマーク国民の生体サンプルがCPR番号に対応して冷凍保存されています。ここから先が非常にデンマークらしいところなのですが、これらの生体サンプルや診療記録のデータは、内に秘められるよりもむしろ外に開放され、利用されています。新薬や次世代の医療機器の研究開発目的であれば、第三者からのアクセスが可能になっているのです(もちろん医療以外のデータにはアクセスできません)。そしてこのシステムは、デンマークにおけるライフサイエンス分野の研究開発を支えるバックボーンとなっているのです。

このような個人データの利用は、個人情報保護という問題が常に立ちはだかる日本においては、およそ考えられない、いささか開放的過ぎるやり方に見えます。当然のことながら、さまざまなリスクは存在します。デンマークにおいても、時折発生する個人データの不正利用や流出事件が、最近になってようやく深刻に受け止められるようになってきました。しかしある専門家は、いかなる再発防止策を施したとしても、「事故」のリスクをゼロにすることはできず、こういったデメリットは、国民の享受する多大なメリットを揺るがすほどのものにはならない、と言います。

多少のリスクを負いながらも、あくまでオープンなシステムを志向するデンマーク人の考え方は、われわれ日本人の頭では理解できても、なかなかまねることはできないと思います。やはり、プライバシーや安全性などの価値観に大きな違いがあるのでしょうか。それは元をたどれば、カーテンのない家で生活することがデンマーク人にとっては自然で、日本人にはなかなかなじめないという、いわばDNAの違いからくるものなのかもしれません。